

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第9回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

○副会長の選任について

○頸城区における「地域活性化の方向性」の周知について

○活動団体との意見交換から見てきた地域の課題について

(2) 報告事項（公開）

○新市建設計画の変更について(通知)

3 開催日時

令和4年11月16日（水）午後6時30分から午後7時55分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

1名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：上村閨一（会長）、小川泉、笠原昇治、橋本春美、船木貴幸、望月博、山本誠信、横山一雄（委員13人中8人出席）

・事務局：頸城区総合事務所岡村所長、本間次長、井部市民生活・福祉グループ長、総務・地域振興グループ渡辺班長、市川主査

8 発言の内容

【本間次長】

・会議の開催を宣言

【上村会長】

・挨拶

【本間次長】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上

の出席を確認、会議の成立を報告

- ・会議録の確認：佐藤委員、船木委員に依頼

【上村会長】

次第3 協議事項「(1) 副会長の選任について」に入る。事務局に説明願う。

【本間次長】

- ・事務局からの説明

【上村会長】

事務局から説明があったとおり、他薦・自薦を含めて皆の意見で決めていきたい。いかがか。

【望月委員】

地域協議会は今期で5期目となるが、そのうちの3期を務めている方が何名かいる。その中でもこれまでの経験を考慮し、笠原委員にお願いしたい。

【横山委員】

望月委員の意見に私も賛成である。笠原委員は様々な活動団体に所属し、役職も務めている。頸城区の活性化を進めるには活動団体との連携を密にすることが大切であり、笠原委員なら団体との連携が取れると思う。忙しいと思うが是非受けていただきたい。

【上村会長】

他に意見はないか。

【小川委員】

私も笠原委員にお願いしたい。横山委員の発言のとおり、地域の活動団体と連携を密にすることが可能になると思う。

【上村会長】

他に意見はないか。

- ・意見なし

今ほど3人の委員が笠原委員を推薦した。他にないようなので、賛成・反対の意思を確認する。賛成の方は挙手をお願いする。

- ・全員挙手

【上村会長】

笠原委員を副会長に選任する。笠原委員には、副会長の席に移動し一言挨拶願う。

【笠原副会長】

私も地域協議会委員を3期務めており、次回は若い方に引き継ごうと思っている。残り1年5か月、皆様からご協力いただき、上村会長と共に頑張っていきたい。よろしく願います。

【上村会長】

以上で副会長の選任は終了する。

次に次第3 協議事項「(2) 頸城区における「地域活性化の方向性」の周知について」に入る。事務局に説明願う。

【渡辺班長】

- ・事務局からの説明。

【上村会長】

資料No.1で事務局の案が示された。資料の事前配布があれば良かったが、大事な内容なので時間をかけて議論したい。

【望月委員】

資料No.2について、ビジターセンターの取組が後退しているとの意見があるが、町内会長協議会の理事会では詳細な説明が出来なかったため誤解をされているところもある。また、大池周辺の草刈は明治地区の住民だけが行っているとあるが、頸城村40周年記念で植えた桜の木の草刈と維持管理は、頸城区全体で実施している。また、白田邸の維持管理は保存会のみで実施しているとあるが、決してそうではない。このように誤解されている部分が多くあるようだ。誤解を解くためには、関心を持って理解してもらうことだと思う。それには、いかに周知していくかを検討していく必要がある。11月22日火曜日に町内会長会議があり55町内会長が集まる。この機会に地域協議会が出席して、きちっと説明した方がよい。

【上村会長】

町内会長会議には私が出席したい。現状を説明し、頸城区全体の取組としてどうしたら良いか、意見を聞きたいと思っている。

また、ビジターセンターの取組が後退しているとの意見だが、町内会長も代が代わり、ビジターセンターが建設された当時の状況を知らない人も多いと思う。ビジターセンターのある大池は、上杉謙信の時代からあり、江戸初期の大養郷の新田開発に伴い、多くの水田を開いてきた。頸城村の頃に、浦川原から保倉川の水を引き、大池に

汲み上げたという歴史を紹介する展示施設と研修施設を併設したビジターセンターを建てた。月日が経って利用者が少なくなり、指定管理でくびき里やま学校が何年か管理したが、経営が成り立たず地域協議会で「地域を元気にするために提案事業」として取り組み、頸城区観光協会が設立された後は、観光協会が運営管理を行っている。町内会長にその経緯を説明して協力を求めている。

ほかに意見はないか。

【船木委員】

社会福祉協議会が地域福祉活動計画を策定するためのワークショップを行っている。立場は違うが考えていることは同じで、明日また希望館でワークショップが行われる。そこでも周知してはどうか。

また、白田邸、瀧本邸、くびき野レールパークもイベント時は賑わっているが、地元の人に関わってくれない。実働部隊がいないと常々感じている。イベント等をきっかけにして、各団体の声を区民に聞いてもらえるような企画があったらいいと思う。

【上村会長】

他に意見はないか。

【笠原副会長】

これまで地域協議会も大池を中心に一生懸命取り組みを行ってきたが、それが地元の人に伝わらない。毎月「くびきまちづくり通信」が発行されているが、そこに頸城区観光協会、地域協議会が同じテーマを持って活動していることを紹介すれば伝わるのではないかと思う。

【上村会長】

他に意見はないか。

事務局は、今までの発言について何かあるか。

【渡辺班長】

若い方への周知方法はないか。例えば、学校やPTA行事などを通じて保護者への周知が可能ではないか。委員から会議の日時を情報提供してもらい、主催者をお願いして説明する時間をいただく方法もある。

【上村会長】

橋本委員はどうか。

【橋本委員】

学校行事として11月下旬にコンサートイベントが予定されており、保護者も参加するが、出席率が良くない。

また、これからの時期は新型コロナウイルス感染症の関係で、保護者総会なども開催されない。

若年層とは、どの年代のことか。

【上村会長】

小中学生の保護者の年代にぜひ聞いてもらいたい。今後、各団体は総会の時期だと思うが、委員の皆さんは情報収集して、説明できる機会を見つけてもらいたい。「地域独自の予算」の取組、「地域活性化の方向性」についての説明はもちろん、参加した方の意見を聞き、令和6年度の「(仮称) 地域独自の予算」の事業提案に向け門戸を広げるように、委員は心がけてもらいたい。

他に意見はないか。

【船木委員】

昨年から白田邸、瀧本邸、上越名家ネットワークの活動に上越教育大学附属小学校の先生が興味を持ち、授業に取り入れてくれた。子どもたちが白田邸、瀧本邸を訪れ、邸の説明を受け、掃除の手伝いをしてくれた。保護者からは、上越にこんなところがあるとは知らなかったという声を聞いた。子どもたちにアプローチするのはいいことで、上越市の教育委員会でも上越市内の文化財を授業に取り入れてほしい。

【上村会長】

11月22日の町内会長会議で、誤解のないように丁寧に説明しながら理解してもらい、令和5年度の「(仮称) 地域独自の予算」の実施に向け、町内会長から協力してもらえるようにしたいと考えている。また、説明する機会が重なれば、正・副会長あるいは委員が手分けして説明をしていきたい。

次に、次第3 協議事項「(3) 活動団体との意見交換から見えてきた地域の課題について」に入る。事務局に説明願う。

【渡辺班長】

- ・事務局からの説明

【上村会長】

意見はないか。

4月には、令和6年度の提案募集に向けて動きはじめると思うので、それを踏まえ、委員がどう関わるかを含めて率直に意見を願います。

【船木委員】

令和3年度は「頸城の祭典」が中止になり、代わりに「くびきの灯り」が開催されたが、良いイベントだった。地域協議会も一緒に話し合ってもいいと思う。

【上村会長】

他に意見はないか。

ではまず、事務局が考えた資料No.1のスケジュールを承認することでよいか。

【望月委員】

これでよいと思う。1つ聞きたいが、資料No.1の③季節の花が咲く通学路、ポケットパーク整備の1月、2月のところに、「地域の花を検討」とあるが地域の花とは何か。

【渡辺班長】

来年度はモデル事業として頸城線の植樹帯に花を植える計画だが、除草などに手をつけずに綺麗な花を見られるようにするには、どの花を植えたらいいか検討していきたいという意図である。4月に入ればすぐに活動を始めなくてはならないので、その前に植える花の候補を決める必要があると考えている。

【望月委員】

通学路とポケットパークとあるが、ポケットパークは頸城線の植樹帯のことか。

【市川主査】

今回はポケットパークの整備までは計画していない。渡辺班長が説明したとおり多くの人の目に付く頸城線の高速道路の交差点で1カ所、約8mをモデル的に植えることで、花を紹介ができればと考えている。

【望月委員】

それをポケットパークということにしたのか。

【市川主査】

ポケットパークは、地域の空き地や公共施設の用地を地域で活用して作っていくことを考えている。アヤメだけだと2週間程度で花が終わってしまう。できれば1年中花が咲いている環境に整えながら、居住環境を良くする方向で検討していきたい。

【山本委員】

今まで地域活動支援事業で植えた花が何種類かあるがその花はどうなるのか。

【市川主査】

くびき花の会からも季節ごとにどんな花を植えたらいいか提案をいただいている。それに事務局で調べた花を加え、候補リストを作成している段階である。それを基に花のテーマ担当の委員とくびき花の会と一緒に打ち合わせをしながら植樹する花を決めていきたいと考えている。

【山本委員】

了解した。

【上村会長】

先日「くびきの文化祭」で、くびき花の会が菊の花を盛大に展示しており文化祭を盛り上げていた。くびき花の会がこのような活動をしていることを初めて知った。一方でくびき花の会が頸城線で行っている活動について住民から様々な意見を聞いている。地域活動支援事業では、地域協議会委員は提案された事業に対する質問しかできず、意見を述べる機会はなかったが、今後はそうした地元の声も聞きながら進めて行きたい。

他に意見はないか。

【笠原副会長】

地域活動支援事業では、植樹する花や場所は提案団体が決めていた。今回は区のモデル事業として実施するため、地域協議会委員も一緒に花を決める事ができる。それから、頸城の人は、地域のことに関心が薄いとのことだが、頸城区には55の町内会がある。今回提案した地域独自の予算の事業については、各町内会で周知できていないのではないかと思う。町内会の役員が知らなければ、一般の人にも関心を持っていただけない。ぜひ町内会長会議の中で議論してもらえるようにしてほしい。

また、頸城の祭典や大池まつりのボランティアなどもくびき振興会だけで活動していて住民の十分な応援ができていないと思う。より多くの力を求めて活動に繋げていけたらと思う。

【上村会長】

他に意見はないか。

それでは資料No.1を基本として今後進んでいくことでよろしいか。

・よいの声

それでは次に進む。事務局に説明願う。

【渡辺班長】

・資料No.3の説明

【上村会長】

意見を求める。

【望月委員】

提案1の実施方法①だが、どういふことをくびき振興会に提案するのふ。

【渡辺班長】

地域協議会で「くびきまちづくり通信」を活用させてほしいという意見があるため、協力してもらえないか相談させてほしいという趣旨である。

【望月委員】

了解した。

【上村会長】

できれば「くびきまちづくり通信」に毎月掲載して情報提供をしたいと思うし、先ほど話が出た大池周辺の草刈を地元だけで実施しているなどの誤解を解くためにも、区民に周知徹底をする必要があると思う。

【望月委員】

「くびきまちづくり通信」の表面は振興会の行事、裏面は総合事務所からのお知らせを掲載している。地域協議会なので裏面の総合事務所からのお知らせの方に掲載するのがよいと思う。

【上村会長】

地域協議会は、市長の付属機関なので、総合事務所の枠を少し削ってもらい掲載してはどうかとも思うが、発行責任者は振興会なので、その辺はよく協議してもらいたい。

委員の皆さんには、この課題解決策提案シートに出来るだけ具体的に記載し提出をお願いしたい。

次に、次第4 報告事項「(1) 新市建設計画の変更について(通知)」に入る。事務局に説明願う。

【本間次長】

・事務局からの説明

【上村会長】

その他に入る。

【本間次長】

- ・ 除雪計画書等の説明
- ・ 頸北地区合同研修会の連絡
- ・ 次回の地域協議会の日程について提案
12月21日（水）午後6時30分から開催

【上村会長】

質問はあるか。

【横山委員】

県道大瀧南川線の歩道は、県道なので県が除雪すると思っていたが、いつの間にか市でやるようになり地元が請け負っている。昨今除雪を行う方が高齢になり体調が悪かったり、除雪機も歩道除雪に合ったものがなかったり、歩道除雪がきちんとできていないのが現状だ。市で検討していただきたい。

子どもたちの通学に非常に危険なところもあり、8時半から9時頃にデイサービスへ行くお年寄りもいる。そういったことも検討に入れて、きちんと除雪してほしい。

【本間次長】

担当に確認して個別に回答をさせてもらおう。

【上村会長】

他にないか。

- ・ なしの声
- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線212）

E-mail：kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。